

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	北東アジア安全保障会合開催に係る経費	担当部局庁	総合外交政策局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度		担当課室	安全保障政策課	課長 伊澤 修				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅱ－1 国際の平和と安定に対する取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項第一号イ	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本件会議は、北東アジアの安全保障問題を巡る動向等について、本省の安全保障担当官及び中国、韓国、台湾の有識者とが一堂に会し、意見交換し、これを我が国の安全保障政策の企画・立案に活用することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日本周辺地域においては、北朝鮮による韓国哨戒艦沈没事件や韓国の延坪島に対する砲撃が発生するなど、安全保障環境は厳しさを増しており、本省の安全保障担当官及び中国、韓国、台湾の有識者との意見交換を通じ、北東アジア地域の安全保障環境について共通認識を持つことは急務である。かかる観点より、本省の安全保障担当官及び中国、韓国、台湾の有識者を招集し、各国の安全保障政策や北東アジアの安全保障問題を巡る動向等について、幅広い意見交換を行い、相互の情報共有を図るとともにそれらの諸問題に関する認識の統一を図るものである。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	—	—	—	—	0.9	
	執行額		—	—	—			
	執行率(%)		—	—	—			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	本省の安全保障担当者及び中国、韓国、台湾の有識者との間で幅広い意見交換を行い、諸問題に関する認識統一を図るとの目的にかんがみ、当面、こうした会合を年一回開催することを目標とする。		成果実績	参加人数				5
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	24年度活動見込
	当面は、本件会議を年一回の開催を指標とする。		活動実績 (当初見込み)	会議開催			() ()	—
単位当たりコスト	900(千円/回)		算出根拠	単位当たりコスト＝本件会議開催費用／実施回数				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	外国旅費	0	222					
	文化人等派遣旅費	0	683					
計	0	905						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本会議の開催を通じて、本省の安全保障担当官及び中国、韓国、台湾の有識者との間で幅広い意見交換をすることで、北東アジア地域の安全保障環境について認識の統一を図る上で、大いに成果が期待される。		
予算監視・効率化チームの所見			
		事業について精査した結果、一部事業の縮小	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			